

第2コムハウス通信

2022年6月24日(金)

1010号

「麦秋」の名のとおり、麦が“実りの秋”をむかえています。麦畑のうす茶色と水田の緑色と空の青色（ときおり鉛色）のコントラストがきれいですね。ご存じのとおり、寿地区の「ねくすと」「コムハウス」では麦ストローを作っています。麦は自前で作付けして、昨年秋に撒いたライ小麦をこの時期に収穫、はぜ掛け（乾燥）、脱穀をしていきます。そして、茎の部分を決められた長さに、なかまのみなさんが自助具を使い切っています。できあがったストローは、東京・三鷹のジブリ美術館の「カフェ・むぎわらぼうし」に納品されています。

第2コムハウスでは、国産小麦にこだわって使ってシフォンケーキを作っています。当初に比べて固定客が増え、毎年売り上げが伸びていて、なかまたちも「自分の仕事」として誇りをもって取り組んでいます。昨夏はテレビ信州「太鼓判フード」にも認定されました。

ところが昨今は、ウクライナの戦争などの影響で小麦の価格が上昇し、シフォンケーキの収益にも影響がはじめています。もともと、「収穫」は人々に大きなよろこびをもたらすもの。世界中の「麦秋」の景色が、すべての人の幸せにつながってほしいものです。

